



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「一りん車にのれた」

★今回の道徳の授業のねらい

自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり抜こうとする態度を育てます。

★お話のあらすじと内容

一輪車がなかなか上手にならない主人公は、一度は練習を投げ出してしまいます。しかし、一輪車クラブの見学で、その演技のすばらしさを見て、練習を再開し一輪車に乗れるようになったという話です。目標や夢を持つことで、つらいことも頑張ることができます。そして、一つの目標を達成するとより高い目標に向かっていく自信ができます。途中でやめてしまった経験と照らし合わせて考えさせたい教材です。

★子どもたちの授業のふりかえり

○頑張り続けてよかったことはありますか、授業で感じたことはありますか。

- ・習い事をさぼりたくなったり、いやだなと思ったりしたことはあるけれど、試合でうまくできて点をとることができたときはがんばってよかったと思いました。
- ・字をきれいに書くことをがんばっています。一年生のころは字がきれいではなかったけれど、今は特に漢字をきれいに書くようにど力しています。どんどんきれいに書けるようになってきているので、もっときれいにするためにこれからも心がけたいです。
- ・今、マラソン練習のときは、はやく終わりたい気持ちがあるけれど、あきらめずに練習を続けてマラソン大会で活躍したいです。
- ・習い事をがんばっています。まだできないこともあるので、たくさん練習していきたいです。

★家庭で話し合ってもらいたいこと

ご家庭ではぜひ、次のことについてお願いしたいと考えます。

お子さんが、途中でくじけそうになっているときは、叱るよりも、「こうすると頑張れるよ。」「こんなやり方をしてみたらどうかな？」など、適切なアドバイスが効果的です。

また、頑張っていることがありましたら、たくさん褒めてください。褒められることで、意欲が継続したり、自信がついたりします。ご家族の励ましや助言が一番の力になります。さて今、お子さんにどんなことを言って励ましたいのですか？